

新商品概要 / トピックス

(OKIプレミアムフェアの話題展示紹介)

ビジネスホンと複合機の連携で オフィス業務を効率化する新機能を提供開始

OKIとOKIデータは、中小規模オフィス向けのビジネスホン「CrosCore®シリーズ」と「COREFIDO3」対応のA3カラーLED複合機4機種(MC883dnwv、MC883dnw、MC863dnwv、MC863dnw、以下、複合機)を連携する新機能を開発し、提供を開始しています。



「CrosCoreシリーズ」とLED複合機「MC883dnwv」

アピールポイント

複合機の印刷状態を電話機にボタン点灯で通知して自席で把握できるようにし、複合機の前での待ち時間を解消するとともに、消耗品切れや印刷エラーなどにも迅速に対処することができます。また、複合機で受信したFAXをスマートフォンにメールで通知し、外出先からFAX情報を閲覧できるようにすることで、複合機の前に行かないとFAXを受信したことに気が付かない、担当者が外出中で情報が伝わらないことがなくなります。

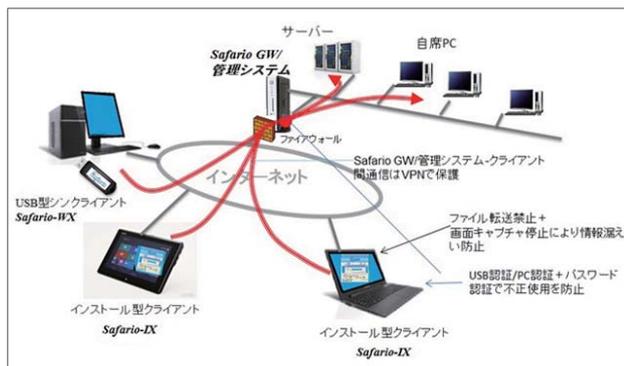
複合機・スマートフォン・電話機の「音声とドキュメントの融合」により、最小限の投資で業務効率化を実現し、ワークスタイル変革に貢献します。

●お問い合わせ先

OKI 通信システム事業本部 企業ネットワークシステム事業部 マーケティング部 TEL.048-420-7053
OKI データ マーケティング本部 オフィスソリューションビジネスユニット TEL.03-5445-6143

タブレット型端末対応のシンクライアント 「Safario®-IX」を販売開始

OKI コンサルティングソリューションズ(OCS)は、タブレット型端末対応のシンクライアント「Safario®-IX(サファリオアイエックス)」を開発し、7月22日より販売と出荷を開始しました。



Safario システム構成例

アピールポイント

「Safario-IX」は、従来の「Safario」の機能を引き継ぎ、クライアント機器認証、VPN^{*1}、ファイルダウンロードの禁止などの万全なセキュリティー機能を持ち、安全なリモートアクセスを実現しています。これにより外出先では携帯したUSBトークン型をPCに挿入することでシンクライアントを実現し、タブレット型端末を持ち歩く場合は事前にアプリケーションをインストールすることで利用できます。また、テレワークなど決まった場所に設置されたPCを使用する場合にもあらかじめアプリケーションをインストールすることでUSBトークンなしで利用できるようになります。さらに「Safario-IX」は従来の「Safario」のゲートウェイと認証・管理システムを使用できるので、それぞれの利点を活かした混在使用も可能です。

^{*1} : VPN(Virtual Private Network)
通信事業者の公衆回線を使用して構築された仮想的な組織内ネットワーク

●お問い合わせ先：OKIコンサルティングソリューションズ TEL.03-5445-6015

可動耐久性に優れた機器内配線用絶縁電線 「ORP-Iシリーズ」の販売を開始

沖電線は、高屈曲ロボットケーブル「ORPケーブル・シリーズ」の新たなラインアップとして、可動耐久性に優れ、機器内の可動部配線に最適な機器内配線用絶縁電線「ORP-Iシリーズ」を、9月15日より販売開始しました。



「ORP-Iシリーズ」

●お問い合わせ先：

沖電線 お客様相談窓口 TEL.0120-087091

アピールポイント

「ORP-Iシリーズ」は、シース(ケーブルの外被覆)をまとったケーブルでの配線が難しい狭所スペースへも対応できる絶縁心線のご要求にお応えしていくため、「ORPケーブル・シリーズ」の絶縁心線をベースとして開発しました。

本シリーズは、絶縁材料に特殊エラストマー^{※1}を採用し、優れた屈曲耐久性と低価格の両立という「ORPケーブル・シリーズ」の特長を継承しています。そのため、ロボット用途の市場で実績の高かったフッ素樹脂絶縁ケーブルなどに比べて細く、曲げ半径が小さくできるため、狭い機器内スペースへの配線がしやすくなります。

仕様

- ・屈曲性能：100万回以上(導体サイズ0.2SQ 曲げ半径：20mm)
- ・最小曲げ半径：6mm(0.2SQ)～25mm(5.5SQ)

※1：特殊エラストマー

ゴム状の弾力性を持つ独自開発の合成樹脂材料。強じん度滑性に優れ、フッ素材料よりも可動性能が向上する。

次世代パワー半導体の耐熱試験が可能な 「300℃対応熱衝撃試験」を提供開始

OKI エンジニアリング(以下、OEG)は、電子機器などの300℃までの高温での耐熱試験が可能な「300℃対応熱衝撃試験」サービスの提供を開始しました。新試験設備の導入により、次世代パワー半導体^{※1}に要求される厳しい熱ストレスに対する耐性の評価が可能となり、お客様の商品開発をサポートします。



300℃対応熱衝撃試験設備

アピールポイント

熱衝撃試験は高温と低温の温度差を繰り返すことにより温度変化に対する耐性を評価する試験です。近年、電気自動車のモーター制御や家電製品、電子機器の電源装置等に使用され市場が急拡大している次世代パワー半導体は、材料の特性上200℃を超える温度での動作も可能ですが、従来の熱衝撃試験機は高温側が200℃までの装置が多く、お客様からの試験ニーズに対応できていませんでした。

今回 OEG が導入した「300℃対応熱衝撃試験」では高温側300℃まで対応可能なため、次世代パワー半導体の温度変化に対する耐性を評価できます。

※1：次世代パワー半導体

SiC(シリコンカーバイド/炭化珪素)、GaN(ガリウムナイトライド/窒化ガリウム)といった材料を用いるパワー半導体で従来のSi(シリコン)を用いるパワー半導体に比べON抵抗が小さく動作速度が速いため電力損失を小さくできる。

●お問い合わせ先：OKIエンジニアリング 西東京試験センタ TEL.042-471-5142

銀行サービスをお客さまの近くにお届け 小型移動店舗

OKIプレミアムフェア 参考出展
(2015年11月19日・20日開催)

概要

モジュール型の ATM を一般車両に搭載し、店舗や ATM の少ない地域での巡回店舗、イベント会場でのポップアップ店舗など多様なシーンで金融サービスをご提供します。

利用分野・利用シーン

- 店舗・ATMの少ない地域を巡回し、運用コストを抑えサービスレベルを維持
- イベント会場など、多くの人が集まる会場に出向き、顧客接点・セールス機会を増加
- 災害時の臨時店舗として利用しBCP対策を強化

主な特長

- 通帳記帳部を搭載し、高齢者や事業者の記帳ニーズに対応
- 目的に応じたモジュールの組合せが可能
- 他行カード対応など、従来のATMと同等のサービスを提供可能

一般車両に搭載可能
機動性を実現

デバイスをモジュール化
目的に応じた組合せ自由



車載イメージ

OKIの小型移動店舗は場所を問わず様々なシーンで活躍します!

店舗・ATM 空白地帯巡回	イベント会場の ポップアップ店舗	災害時の BCP対策
<ul style="list-style-type: none"> ・低運用コストでサービスレベル維持 ・お客さまの利便性向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロモーション効果による新規顧客誘致 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの早期再開 ・大型車両では困難な場所でのサービス提供

●お問い合わせ先：OKI システム機器事業本部 自動機事業部マーケティング部 TEL.03-5445-6435

～ OKI の考える小売店舗の現金管理の将来像 ～ 小売店舗での管理者レス・現金タッチレス運用 ＜現金を触らない！触らせない！＞

OKIプレミアムフェア 参考出展
(2015年11月19日・20日開催)

概要

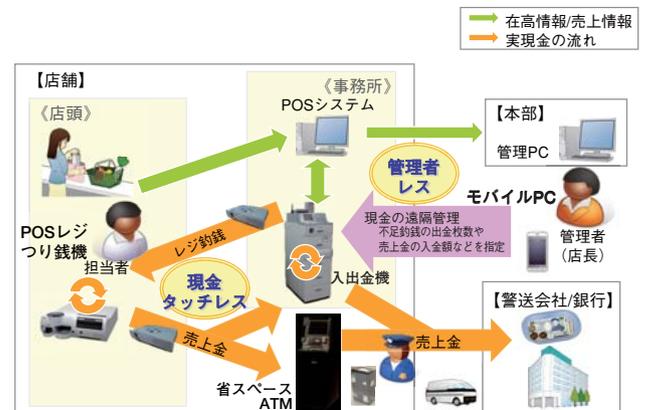
一人の管理者(店長)が複数店舗を兼務し、アルバイトだけで営業する場合でも、安全に現金を触らずに、店舗の不足釣銭の補充や売上金管理を行います。

- ◇現金タッチレス
入出金機・省スペースATMとつり銭機の紙幣カセットを連携し、現金を触らずに、店舗の不足釣銭の補充や売上金の口座入金を行います。
- ◇管理者レス
入出金機とつり銭機の現金在高を監視し、店舗の不足釣銭や売上金の管理を、遠隔から行います。

メリット

- ①現金違算の削減
つり銭機を活用し、現金違算(釣銭の受け渡しミスなど)を削減します
- ②現金管理の厳正化
店舗内の現金(釣銭・売上、小口現金)を入出金機で管理します
- ③売上金輸送の防犯対策
売上金はカセットで輸送し、安全に口座入金できます
- ④釣銭準備金の効率化
現金をリサイクルすることで、お客様の資金を効率的に運用します

店舗内の現金の流れ



●お問い合わせ先：OKI システム機器事業本部 自動機事業部マーケティング部 TEL.03-5445-6435

安心・安全な社会を実現する、高性能・高機能な監視カメラ 顔認識機能を内蔵した監視カメラ

OKIプレミアムフェア 参考出展
(2015年11月19日・20日開催)

概要

OKIの画像認識技術と映像符号化技術の融合により高度な機能を実現、それを搭載した新たなネットワーク監視カメラシステムを開発しています。

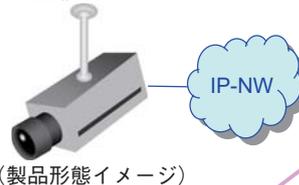
利用分野・利用シーン

- 監視映像の大量・長期保管が必要な、金融店舗や重要施設などの監視に
- 公共施設や商業施設などでの、利用者の行動把握や経路誘導に
- 車両認識や災害検知機能の搭載(将来)で、交通監視や防災用途にも

主な特長

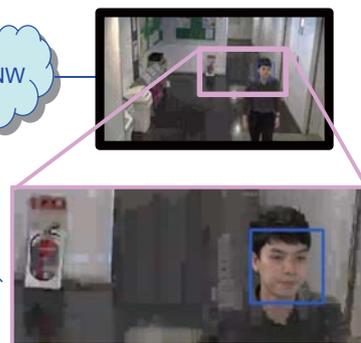
- 映像内で認識した対象に応じた画質で符号化することで、映像データ量を大幅に低減(最高 1/10 程度)、伝送と保管のためのコストが削減できます
- 画像認識機能の追加により、様々な用途へ応用できます

画像認識機能内蔵
監視カメラ



(製品形態イメージ)

【監視センター側】
監視・録画再生画面例



保安上で重要な顔領域だけ
高画質で符号化することで、
映像データ量を大幅に低減

●お問い合わせ先：OKI 研究開発センタ スマート社会ビジネスイノベーション推進部 TEL.048-431-2719

一つのオフィスにいるかのような臨場感で オフィス間コミュニケーションを実現するテレワーク実験オフィスを構築

テレワークは多様なワークスタイルを実現する手段として注目されており、近年では地方創生や介護離職対策といった分野にて期待が高まっています。

OKIはこのたび複数の映像・音・センサー情報を利用してオフィスとオフィスをつなぐ「超臨場感テレワークシステム」を開発し、埼玉県のセンターオフィス、京都府のサテライトオフィスおよびホームオフィス(在宅勤務)を結ぶテレワーク実験オフィスを構築しました。

今後、実験オフィスをを用いて実際の業務を対象にした実証実験を行い、オフィスコミュニケーションにおける効果を定量的・定性的に検証していきます。



京都府のサテライトオフィスの様子

*本実証実験は、国立研究開発法人情報通信研究機構の委託研究「革新的な三次元映像技術による超臨場感コミュニケーション技術の研究開発」の一環として実施しています。

●お問い合わせ先：OKI 研究開発センタ メディア処理技術研究開発部 TEL.048-420-7073